

農大×海外協力隊 セミナー



2026.1.30

東京農業大学グローバル連携センター

本日の内容について

- この説明会では、農大生ならではの海外協力隊参加方法について説明します。
- その中でも、主に、大学院長期履修制度を利用し、大学院に在籍しながら、長期派遣（原則2年間）で海外協力隊に参加することを希望する方向けの説明です。
- 海外協力隊制度についての一般的・全体的な説明は行いません。
- 海外協力隊の制度について、詳しく知りたい方は、各自でJICAが主催する説明会に参加してください。

1. 海外協力隊への道

タイプ	派遣国・職種	派遣期間	農大在籍中の参加（学部）	農大在籍中の参加（大学院）	卒業後の参加
一般応募	公募案件の中から自由に選択 → JICAの公募サイトから応募	長期（原則2年間）	△	○ 長期履修制度利用	◎
		短期（1~12ヶ月）	△	△	◎
大学連携派遣	連携案件（非公開）の中から選択 → 学内公募に応募	長期（1~2年間）	△	◎ 長期履修制度利用	◎
		短期（1~12ヶ月）	○	◎	△

黄色いセル=農大生ならではの！ ◎ おススメ！ ○参加し易い △注意点あり

2. 大学連携派遣とは

東京農大が持つ、国際協力に係る知見・経験や幅広い海外ネットワークを活かし、東京農大の人材をJICA海外協力隊員として派遣することで、

1. 開発途上国の課題解決へ貢献すること
2. 国際社会に関する幅広い知識と経験、農業・農村開発に関する専門知識を有するグローバル人材を育成すること
3. 大学の国際的社会貢献を推進すること

を目的としています。

2. 大学連携派遣とは ～実施中の事業一覧～

国	案件名	対象職種	派遣計画	実施期間	担当教員
ケニア	ケニアにおける地域農産物を活用した栄養改善プログラム	家政・生活改善／食用作物・稲作栽培／野菜栽培／果樹栽培／家畜飼育／食品加工／栄養士など	10か月～最長2年間	2022年9月～ 2027年8月	開発学科 入江(憲)教授
ザンビア	農業分野（食用作物・稲作栽培等）における東京農業大学とザンビア国のJICA 海外協力隊連携派遣	食用作物・稲作栽培／病害虫対策／土壌肥料／バイオテクノロジー／農林統計／農業機械など	長期(2年) 短期(5ヶ月)	2024年3月～ 2030年3月	開発学科 入江(憲)教授
ボリビア	農業分野における東京農業大学とボリビアのJICA 海外協力隊連携派遣	コミュニティ開発／野菜栽培／果樹栽培など	長期(2年) 短期(1ヶ月)	2024年3月～ 2030年3月	開発学科 五野准教授
ジブチ	農業分野（農牧業技術の体系化とセンサ技術を活用したスマート農業の普及）による東京農業大学と島根県立大学とのジブチ国におけるJICA海外協力隊連携派遣	コミュニティ開発／農業土木／野菜栽培／果樹栽培など	長期(1年) 短期(6ヶ月)	2025年11月～ 2030年3月	生産環境工学科 島田教授

2026年1月現在の情報

3. 大学院長期履修制度

- ・ 社会人や、育児・介護等の事情で、標準修業年限（博士前期2年、博士後期3年）で大学院課程を修了することが困難な場合、標準年限を超えて長期的な履修を認める制度です。

- ・ 大学院出願時に、通常の出願書類に加え「**長期履修申請書**」と「**長期履修計画書**」を提出し、審査を経て承認されると長期履修が可能となります。

⇒この制度を活用することで、大学院在籍中にJICA海外協力隊に参加することが可能に！

3. 大学院長期履修制度 ～標準的なスケジュール&メリット～

標準的なスケジュール（長期2年間・2次隊派遣の場合）			
	東京農業大学大学院	海外協力隊	
1年目	4月 博士前期課程入学		
	4～8月 前学期履修		
			8～10月 派遣前訓練
			11～1月頃 出発
2年目	演習のための一時帰国可能性あり	～協力隊活動開始～	
		～協力隊活動継続～	
3年目	11～1月頃 帰国	派遣期間満了後帰国	
	帰国後 後学期履修		
4年目	4～8月 前学期履修		
	10～2月 後学期履修・3月 修了		

この制度のメリット

- 大学院での研究内容や指導教員からの指導・助言を、ボランティアの活動現場で活かすことができる。
- ボランティアの活動現場で得た経験を研究に還元できる。
- 派遣前後のアイドリング期間がない。
- 就職活動に有利（大学院新卒者として就職活動できる。）

など

3. 大学院長期履修制度 ～申請の流れ～ 2027年4月入学希望の場合

【一般公募／長期派遣の場合】

- ①指導教員、グローバル連携センターに相談
- ②2026年度春募集に、協力隊募集専用サイトから各自応募する。
→各自選考に臨む →合格する！
- ③大学院2期試験に出願（長期履修制度申請と協力隊合格通知も提出）→合格する！

一般公募の場合、
必ず春募集に応募してください。
秋募集では長期履修制度の
申請はできません。

【大学連携派遣／長期派遣の場合】

- ①案件担当教員、指導教員、グローバル連携センターに相談
- ②学内公募に応募する。（公募の有無とタイミングは案件により異なります。）
- ③学内選考通過後、農大からの案内に従い各自で協力隊応募手続きを行う。
- ④大学院2期試験に出願（長期履修制度申請と協力隊応募手続き中であることを示す書類の提出も必要）し合格する。

2026年度は、
春募集での大学連携
派遣（長期）の公募は
ありません。

海外協力隊応募・大学院出願の流れ (2027年度4月入学用)



	協力隊応募時期	大学院入試	長期履修申請期間
一般応募	春募集 (2026.2.27~4.15) 合否発表: 2026.8.31(予定)	1期入試	長期履修申請不可
		2期入試	2026年12月2日 (水) ~11日 (金)
	秋募集 (8~9月頃)	長期履修申請不可	
大学連携派遣	春募集 (2026.2.27~4.15) 合否発表: 2026.8.31(予定)	1期入試	長期履修申請不可
		2期入試	2026年12月2日 (水) ~11日 (金)
	秋募集 (8~9月頃) 合否発表: 2月頃	1期入試	長期履修申請不可
		2期入試	2026年12月2日 (水) ~11日 (金)

長期履修申請に必要な書類



(提出先：グローバル連携センター)

	提出書類	提出期日
一般応募	• 長期履修申請書 (様式1)	2026年12月4日 (金) まで
	• 長期履修計画書 (様式2)	
	• 意向確認書 (様式3)	
連携派遣	• 連携事業担当教員からの推薦書	JICA海外協力隊 応募前 (春募集：3月頃 / 秋募集：9月頃)
	• 長期履修申請書 (様式1)	2026年12月4日 (金) まで
	• 長期履修計画書 (様式2)	
	• 意向確認書 (様式3)	

JICA海外協力隊への道 NEXT STEP



グローバル連携センター
公式LINEアカウント
チャットでの個別相談も可

今すぐ！

- ・グローバル連携センター**公式LINE**に登録！
そして

- ・大学連携案件に関心あり→ **各案件担当教員**に相談
- ・大学院長期履修制度に関心あり→ **指導教員**に相談
- ・いずれのケースも→ **グローバル連携センター**に相談

説明会、連携派遣公募
TOEIC団体受検など、
大切な案内が沢山！

知識・技術に加え、今から準備すること、

- ・ **語学**スコアの準備
- ・ **健康**な心身

日本とは大きく異なる環境の中で問題なく生活できる体力・精神力が必要！

1回の受験では思うような結果がでないことも

